

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	異分野融合教育・研究の推進による静岡県のニーズにあった人材育成プログラムの構築					
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授		氏名	森本 達也
	所属・職	氏名	所属・職	氏名	所属・職	氏名
	副学長	合田 敏尚	薬学部・教授	賀川 義之	県立総合病院・副院長	菅原 照
	食品栄養科学部・教授	三浦 進司	薬学部・教授	菅 敏幸	県立総合病院・副院長	吉村 耕治
	食品栄養科学部・教授	新井 英一	薬学部・教授	黒川 洵子	県立総合病院・副院長	大場 範行
	食品栄養科学部・教授	市川 陽子	薬学部・特任教授	森 潔	県立総合病院・看護師長	小杉 一江
	食品栄養科学部・助教	大槻 尚子	薬学部・准教授	宮寄 靖則	県立総合病院・看護師・救急救命士	長島 尚子
	食品栄養科学部・助教	川上 由香	薬学部・准教授	井上 和幸	京都大学医学部・特任教授	高橋 裕子
	看護学部・教授	富安 眞理	薬学部・准教授	坂本 多穂	静岡済生会総合病院・院長	石山 純三
	看護学部・教授	畑中 純子	薬学部・講師	辻 大樹	静岡リハビリテーション病院・名誉院長	神原 啓文
	看護学部・教授	井上健一郎	薬学部・講師	山崎 泰広	静岡リハビリテーション病院・院長	高木 正和
	看護学部・准教授	杉山 眞澄	薬学部・講師	柏倉 康治	静岡県健康福祉部・理事	石田 貴
	看護学部・講師	濱井 妙子	薬学部・講師	黒羽子孝太	静岡県健康福祉部地域医療課・主事	秋山 友和
	看護学部・助教	三崎健太郎	薬学部・講師	南 彰	静岡市地域包括ケア本部	木下 晴美
	看護学部・助教	田中 悠美	薬学部・講師	刀坂 泰史	静岡県看護協会・会長	渡邊 昌子
	国際関係学部・教授	高畑 幸	薬学部・助教	山口 賢彦	静岡県薬剤師会・会長	石川 幸伸
	経営情報学部・教授	湯瀬 裕昭	薬学部・助教	鈴木 美希	静岡県医師会・会長	紀平 幸一
	経営情報学部・教授	東野 定律	薬学部・助教	谷澤 康玄	静岡大学教育学部・教授	小林 朋子
	経営情報学部・講師	木村 綾	薬学部・助教	砂川 陽一	静岡県地震防災センター・所長	外岡 達朗
	グローバル地域センター・特任准教授	楠城 一嘉	薬学部・助教	宮崎 雄輔	静岡県介護福祉士会・会長	及川ゆりこ
	短期大学部・准教授	野口 有紀	静岡市保健所・所長	加治 正行	静岡県教育委員会・教育長	木苗 直秀
	短期大学部・准教授	江原 勝幸	静岡市消防局・消防隊長	海野 雅夫	静岡済生会総合病院・医療相談室長	岩崎 圭介
	薬学部・教授	眞鍋 敬	県立総合病院・院長	田中 一成	静岡市地域リハ推進センター・係長	岩崎 眞理
	発表者	所属・職名	薬学部・教授		氏名	森本 達也

講演題目	異分野融合教育・研究の推進による静岡県のニーズにあった人材育成プログラムの構築
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究の目的は、各学部での縦割り教育だけでなく、横断的な交流を持たせる文理融合教育システムを確立し、多職種連携を円滑に行い、個々の患者さんにあったケアができる人材の育成にも努め、中期計画の「全学的な重点課題」の達成に寄与することである。</p> <p>①多職種連携や多職種協働を目的とした教育カリキュラムの構築 1) 全学共通科目で、学部横断のSGDを中心としたカリキュラムを充実させる予定であったが、コロナのため遠隔講義とした。 2) 静岡型地域包括ケアで活躍する人材の育成のための卒後教育 1) 地域教育ステーションを設置し、質の高い地域包括ケアの実践、従事する医療スタッフの養成、住民の健康向上に向けた事業を展開する。「地域で活躍する医療スタッフは地域で育てる」という考えのもと、大学が地域の医療機関や施設に、大学教員や専門カリキュラムを終えた学生を教育スタッフとして派遣することで両者が結び付き、地域医療教育にふさわしい教育の場を作ることと、大学による地域貢献を両立することが期待できる。 2) 多職種連携研修会を開催し、「入院前」「入院中」「退院後」それぞれで各職種がどのように関わられるのか、多職種で構成したグループで討論した。この研修会の企画・運営には、大学の学生教育で行われているものを参考にするなど、大学の教育資源を活用した。</p> <p>②地域包括ケアを支えるビジネスモデルに関する教育・研究プログラムの開発 高齢者をはじめ地域住民の「ニーズを調査」し、「サービスを企画」、「プロモーション」、「サービスの質の確保、人材・体制の構築」、「他サービス、自治体との連携」、「コストを含めた運営」などについて、静岡県や静岡市をはじめとする自治体、企業とが連携して行うことにより、健康寿命の延伸に寄与するヘルスケアビジネスが充実し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築が実現された、住みやすい街づくりに寄与すると考える。</p> <p>④地域住民の健康増進のためのヘルスプロモーション活動 静岡県や静岡市との共催により開催している健康フェアなどに参加し、市民の健康増進を啓蒙した。</p>